

地域の足 みんなで乗って 将来のまちづくり

みずほバス



平成25年5月～平成30年2月

利用者状況調査結果

瑞穂市総務課

【みずほバスの運行目的】

- ① 市の公共交通機関として地域住民の交通の利便性向上を目的に、市民の足を確保します。
- ② 高齢者や子どもの移動を支援し、外出意欲を促すとともに公共施設、買い物等へのアクセスを確保します。
- ③ 公共交通サービスの充実で、自家用車依存を抑制し、環境負荷の軽減、道路交通混雑の緩和を図ります。

【調査期間・方法】

《平成25年4月1日路線変更》

瑞穂市職員によるみずほバス乗車実地調査（平日）

平成25年5月15日～17日 平成26年2月12日～14日
平成26年6月 9日～11日 平成27年2月17日～19日
平成27年6月22日～24日 平成28年2月15日～17日
平成28年7月14日～19日 平成29年2月24日～28日
平成29年7月12日～14日 **平成30年2月 8日～13日**

（お断り 調査は、各停留所での乗降調査で、年齢等はお尋ねしていませんのでご了承願います。）

【調査結果】

- ① 朝夕は主に通勤通学に利用され、それ以外の時間帯に高齢者のかたが多く利用されます。高齢者と思われるかたの利用状況は次のとおりです。

	本田・唐栗線	十九条・古橋線	牛牧・穂積線
H25.5 調査時	24.2% (23人/95人)	33.3% (24人/72人)	28.8% (15人/52人)
H26.2 調査時	47.3% (54人/114人)	20.0% (19人/95人)	12.1% (15人/124人)
H26.6 調査時	26.8% (26人/97人)	29.3% (24人/82人)	35.4% (17人/48人)

H27.2 調査時	33.0% (32人/97人)	32.8% (22人/67人)	57.8% (37人/64人)
H27.6 調査時	28.6% (24人/84人)	35.3% (30人/85人)	27.9% (12人/43人)
H28.2 調査時	25.6% (20人/78人)	26.7% (16人/60人)	23.7% (14人/59人)
H28.7 調査時	22.0% (18人/82人)	46.5% (40人/86人)	38.3% (18人/47人)
H29.2 調査時	46.4% (51人/110人)	30.5% (32人/105人)	48.0% (24人/50人)
H29.7 調査時	26.5% (27人/102人)	29.6% (34人/115人)	44.0% (22人/50人)
H30.2 調査時	41.0% (34人/83人)	35.6% (32人/90人)	38.3% (18人/47人)

② みずほバスは、穂積駅を中心とした路線体系となっています。穂積駅利用者の割合は、次のとおりです。

H25.5 調査時	H26.2 調査時	H26.6 調査時	H27.2 調査時	H27.6 調査時
82.6%	66.7%	81.9%	68.9%	75.9%
H28.2 調査時	H28.7 調査時	H29.2 調査時	H29.7 調査時	H30.2 調査時
77.7%	76.3%	70.2%	79.8%	71.4%

③ 1日当たりの利用者数別の停留所の割合等は次のとおりです。

～利用者が全くなかった停留所～

	本田・唐栗線	十九条・古橋線	牛牧・穂積線
H25.5 調査時	22.2% (6箇所/27箇所)	28.6% (6箇所/21箇所)	31.8% (7箇所/22箇所)
H26.2 調査時	18.5% (5箇所/27箇所)	23.8% (5箇所/21箇所)	13.6% (3箇所/22箇所)
H26.6 調査時	0.0% (0箇所/27箇所)	23.8% (5箇所/21箇所)	31.8% (7箇所/22箇所)
H27.2 調査時	11.1% (3箇所/27箇所)	9.5% (2箇所/21箇所)	22.7% (5箇所/22箇所)
H27.6 調査時	11.1% (3箇所/27箇所)	14.3% (3箇所/21箇所)	27.3% (6箇所/22箇所)
H28.2 調査時	14.8% (4箇所/27箇所)	19.0% (4箇所/21箇所)	18.2% (4箇所/22箇所)
H28.7 調査時	3.7% (1箇所/27箇所)	14.3% (3箇所/21箇所)	9.1% (2箇所/22箇所)
H29.2 調査時	3.7% (1箇所/27箇所)	14.3% (3箇所/21箇所)	13.6% (3箇所/22箇所)
H29.2 調査時	3.7% (1箇所/27箇所)	14.3% (3箇所/21箇所)	13.6% (3箇所/22箇所)
H30.2 調査時	3.7% (1箇所/27箇所) 荒川	9.5% (2箇所/21箇所) 井場・旭化成	27.3% (6箇所/22箇所) 穂積駅西口・井場・旭化成・花塚 公民館・十九条東・祖父江

～利用者が一人の停留所～

	本田・唐栗線	十九条・古橋線	牛牧・穂積線
H25.5 調査時	18.5% (5箇所/27箇所)	19.0% (4箇所/21箇所)	13.6% (3箇所/22箇所)
H26.2 調査時	11.1% (3箇所/27箇所)	19.0% (4箇所/21箇所)	18.2% (4箇所/22箇所)
H26.6 調査時	14.8% (4箇所/27箇所)	14.3% (3箇所/21箇所)	9.1% (2箇所/22箇所)
H27.2 調査時	11.1% (3箇所/27箇所)	14.3% (3箇所/21箇所)	9.1% (2箇所/22箇所)
H27.6 調査時	11.1% (3箇所/27箇所)	19.0% (4箇所/21箇所)	22.7% (5箇所/22箇所)
H28.2 調査時	7.4% (2箇所/27箇所)	23.8% (5箇所/21箇所)	9.1% (2箇所/22箇所)
H28.7 調査時	25.3% (7箇所/27箇所)	9.5% (2箇所/21箇所)	22.7% (5箇所/22箇所)
H29.2 調査時	3.7% (1箇所/27箇所)	14.3% (3箇所/21箇所)	4.5% (1箇所/22箇所)
H29.7 調査時	3.7% (1箇所/27箇所)	14.3% (3箇所/21箇所)	4.5% (1箇所/22箇所)
H30.2 調査時	14.8% (4箇所/27箇所) 穂積北中学校前・馬場西・ 本田・西小学校前	9.5% (2箇所/21箇所) 大月・稲里	22.7% (5箇所/22箇所) 上牛牧・宝江・下畑・下穂積・庄 屋敷

～利用者が二人の停留所～

	本田・唐栗線	十九条・古橋線	牛牧・穂積線
H25.5 調査時	7.4% (2箇所/27箇所)	9.6% (2箇所/21箇所)	9.0% (2箇所/22箇所)
H26.2 調査時	14.8% (4箇所/27箇所)	19.0% (4箇所/21箇所)	18.2% (4箇所/22箇所)
H26.6 調査時	22.2% (6箇所/27箇所)	19.0% (4箇所/21箇所)	18.2% (4箇所/22箇所)
H27.2 調査時	14.8% (4箇所/27箇所)	14.3% (3箇所/21箇所)	13.6% (3箇所/22箇所)
H27.6 調査時	7.4% (2箇所/27箇所)	0.0% (0箇所/21箇所)	9.0% (2箇所/22箇所)
H28.2 調査時	18.5% (5箇所/27箇所)	0.0% (0箇所/21箇所)	22.7% (5箇所/22箇所)
H28.7 調査時	11.1% (3箇所/27箇所)	9.6% (2箇所/21箇所)	31.8% (7箇所/22箇所)
H29.7 調査時	33.3% (9箇所/27箇所)	4.8% (3箇所/21箇所)	27.3% (6箇所/22箇所)
H30.2 調査時	22.2% (6箇所/27箇所) 穂積郵便局・本田郵便局前・ 十七条東・重里・森・田之上	14.3% (3箇所/21箇所) 穂積郵便局・花塚公民館・ 図書館	0.0% (0箇所/22箇所)

～利用者が五人以上の停留所（上位5箇所）～

本田・唐栗線

1	2	3	4	5
穂積駅前 (45人)	瑞穂市役所 (25人)	美江寺 (17人)	本田団地北口 (8人)	美江寺東口 (7人)

十九条・古橋線

1	2		3		4	5	
穂積駅前 (73人)	南小学校 (13人)	牛牧団地 (13人)	巢南庁舎 (11人)	古橋神田町 (11人)	瑞穂市役所 (8人)	野田新田公民館 (8人)	穂積駅西口 (7人)

牛牧・穂積線

1	2	3	4	5	
穂積駅前 (39人)	プラント6 (9人)	牛牧八幡神社前 (8人)	ほづみ園 (6人)	防災センター (5人)	中切 (5人)

【市内主要公共施設へのアクセス】

家族や友人と公園、図書館へ行ったり、市内の文化財めぐりをしたりしてみてください。

区分	公共施設名	最寄バス停名（路線名）
鉄道駅	J R 穂積駅	穂積駅前（全路線）
	樽見鉄道 美江寺駅	美江寺東口（十九条・古橋線、※美江寺・穂積線）・美江寺駅（本田・唐栗線）
	樽見鉄道 十九条駅	十九条西（十九条・古橋線）
	樽見鉄道 横屋駅	横屋（十九条・古橋線）
庁舎等	穂積庁舎・総合センター（保健センター）・市民センター	瑞穂市役所（全路線）
	巢南庁舎・巢南公民館・巢南グラウンド	巢南庁舎（十九条・古橋線、美江寺・穂積線）
コミュニティセンター	本田コミュニティセンター	本田コミュニティセンター（本田・唐栗線）
	牛牧北部防災コミュニティセンター	防災センター（牛牧・穂積線）
	牛牧南部防災コミュニティセンター	下畑（牛牧・穂積線）
図書館	図書館本館	図書館（十九条・古橋線）
	西部複合センター （図書館分館・巢南保健センター）	巢南庁舎（十九条・古橋線、美江寺・穂積線）・大月（十九条・古橋線）
都市公園	前畑公園	馬場西（本田・唐栗線）
	上光公園	馬場上光町（本田・唐栗線）
	馬場公園	馬場春雨町（本田・唐栗線、※大野・穂積線）
	糸貫川河川公園	穂積北中学校前（本田・唐栗線、大野・穂積線）
	せせらぎ公園	本田団地（本田・唐栗線）・本田団地北口（本田・唐栗線、美江寺・穂積線）
	小簾紅園	呂久（十九条・古橋線）
	さい川さくら公園	プラント6（牛牧・穂積線）

小中学校等	生津小学校	馬場上光町・馬場西（本田・唐栗線）
	本田小学校	本田コミュニティセンター（本田・唐栗線）
	穂積小学校	瑞穂市役所・穂積郵便局（全路線）
	穂積保育所	中切（牛牧・穂積線）
	牛牧小学校	下畑（牛牧・穂積線）
	西小学校・西保育教育センター・西ふれあい広場	西小学校前（本田・唐栗線）
	中小学校	美江寺（本田・唐栗線、美江寺・穂積線）
	中保育教育センター・中ふれあい広場	美江寺東口（本田・唐栗線、美江寺・穂積線）
	南小学校・南ふれあい広場	南小学校（十九条・古橋線）
	南保育教育センター	古橋神田町（十九条・古橋線）
	穂積北中学校	穂積北中学校前（本田・唐栗線、大野・穂積線）
	穂積中学校	図書館（牛牧・穂積線）
	巢南中学校	巢南庁舎（十九条・古橋線、美江寺・穂積線）・大月（十九条・古橋線）
その他	老人福祉センター	巢南庁舎（十九条・古橋線、美江寺・穂積線）
	駅西会館	穂積駅西口（十九条・古橋線、牛牧・穂積線）・穂積郵便局・穂積駅前（全路線）
	美来の森	十九条東（十九条・古橋線、牛牧・穂積線）
	川崎平衛右門の墓碑（興禅寺）	十九条西（十九条・古橋線）
	牛牧閘門	下畑（牛牧・穂積線）
	中山道美江寺宿跡	美江寺（本田・唐栗線、美江寺・穂積線）

※大野・穂積線、美江寺・穂積線は、岐阜バスの営業路線です。（運賃は100円ではありません。）

●市内めぐりのルート（例） ※土曜日・日祝日

- 防災センターバス停（牛牧・穂積線） 12：04着 → 徒歩7分 → 川崎平右衛門の墓碑 → 徒歩9分
 → 十九条西バス停（十九条・古橋線） 12：39発 → 巢南庁舎バス停 12：44着 → 昼食等
 → 同バス停（岐阜バス美江寺・穂積線） 13：16発 → 美江寺バス停 13：19着 → 美江寺宿散策
 → 美江寺駅（樽見鉄道） 14：18発 → 横屋駅 14：23着 → 徒歩4分 → 南ふれあい広場
 → 南小学校バス停（十九条・古橋線） 15：35発 → 瑞穂市役所～穂積駅バス停にて乗り換え、帰宅

【市内主要民間施設へのアクセス】

バスに乗って買い物や病院に行ってみてください。

区分	施設名	最寄バス停名（路線名）
商業施設	プラント6	プラント6（牛牧・穂積線） 15～18時は、40分～1時間後に次の便があります。
	ピアゴ	馬場春雨町（本田・唐栗線、大野・穂積線）
	トミダヤ（巢南店）・ゲンキー	森南口（本田・唐栗線、美江寺・穂積線）
	バロー・Vドラッグ・コメリ	十九条西（十九条・古橋線） 防災センター（牛牧・穂積線）
	平和堂	穂積駅西口（十九条・古橋線、牛牧・穂積線）
医療施設	名和内科	重里（本田・唐栗線）
	ほづみ整形外科	穂積駅西口（十九条・古橋線、牛牧・穂積線）
	朝日大学病院	※朝日大学（朝日大学スクールバス）
	佐竹整形外科	中切（牛牧・穂積線）・ 朝日大学（朝日大学スクールバス）

※朝日大学スクールバスは、朝日大学と穂積駅にとまります。どなたでも無料にご利用いただけます。

【今後について】

- ・平成30年4月から、みずほバスは再編して運行します。
 - ①公共交通カバーエリアを増やすために、バス停を6箇所移設し、13箇所増設します。
 - ②運行エリアの拡大にあわせ、現行の3路線から4路線へ、路線を増やします。
 - ③帰宅時にも利用しやすくするために、JR穂積駅前20時台発を中心に、夜間に増便します。
 - ④利用者にわかりやすくするために、バス停の名称を商業施設名に変更します。
- ・再編後も引き続き、職員の現地調査による調査・分析を行い、将来の公共交通のあり方を検討します。
- ・サイクル&バスライド（自転車でバス停まで行き、バスに乗る）の取り組みをPRします。
- ・バスの各種割引等サービス（1日乗車券、運転免許証自主返納者への運賃支援）のPRをします。
- ・広報やホームページなどを通じて、みずほバスに関する情報を積極的に発信していきます。

【最後に】

公共交通を残すために今できることは、少しでも鉄道やバスを利用していただくことです。自分たちが住んでいる地域を次の世代に受け継いでいくためにも、休みの日や時間の余裕がある時に、鉄道やバスを利用して、買い物やレジャーに出かけるなど、皆さんに乗っていただくことが、公共交通を残すことができる最も効果的な方法です。

みずほバスが、いつまでも、地域の足として、市民に愛され慕われるバスでありたいです。
ご意見をお待ちしています。